

大阪医科薬科大学病院

〒569-8686
大阪府高槻市大学町2番7号
<https://hospital.omp.ac.jp/index.html>
TEL:072-683-1221 (代表)
病床数:894床 (一般病床:863 精神病床:31)



「患者安全」と「看護師の負担軽減」を両立するRFIDによる三点認証



情報企画管理部 部長 井口 健 様

特定機能病院として、31の診療科と14の中央診療部門を持つ、地域の基幹病院、大阪医科薬科大学病院様。安全で質の高い医療の提供と、医療人の育成を理念として掲げています。

近年では、“Super Smart Hospital（スーパースマートホスピタル）”をコンセプトとして、ICTの活用とDX推進によるさらなる効率化、安全化を進め、全ての利用者にとって「温かい病院」を目指しておられます。

その一環として、入院患者様の手首に巻く、個人識別用リストバンドにRFIDタグを導入。電子カルテと連携した三点認証を実現するための読み取り機器に、AsReaderコンボタイプをご採用いただきました。

導入機種 2024年2月導入

ASR-0230D



インタビュー
動画はこちら



課題と背景

これまでは、バーコード付きリストバンドを使用し、パソコンに有線接続したリーダーで認証を行っていました。しかし、夜間の投薬や輸液交換では、暗い病室で患者様の手首を布団から出してバーコードを読み取る必要があり、患者様の安眠を妨げることや、看護師の業務負担が大きいことが課題でした。

AsReaderソリューション

バーコードとRFIDの両方に対応し、電子カルテと連携可能なiPhone装着型のAsReaderコンボタイプをご採用。投薬や輸液はバーコードで確認し、患者様のリストバンドはRFIDで非接触認証できるようになり、布団の上からでも正確に読み取れる環境が整いました。

導入効果

患者様の快適性向上：眠っている患者様を起こすことなく認証可能

看護業務効率化：リストバンドを探す手間がなくなり、点滴交換の所要時間を大幅短縮

安全性の強化：電子カルテと直結した三点認証で、投薬ミスを未然に防止

看護師様の声

「RFIDなら、布団の上から読み取れるので、患者様の睡眠を妨げないことが、一番良いところですね。

以前はバーコードを読んでからパソコンに入力する手間がありましたが、今はその場でスムーズに認証できるため、時間短縮にもつながり、その分、ベッドサイドケアに時間を掛けられるようになったのも嬉しいです。」



看護部 胸部外科病棟 主任

上山 順也 様

2025年8月取材



株式会社アスタリスク

大 阪 本 社：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-16 新大阪大日ビル 201 Tel:050-5536-1185 Fax:06-6886-1114
東 京 事 業 所：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7 水天宮HSビル 2F Tel:050-5830-5393
名古屋営業所：〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-11 名古屋伊藤忠ビル 6F Tel:050-5536-8731